

平成27年度 第一回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会

戦略的健康経営が会社と社会を変える
～いかに肝炎対策に取り組み、企業を健全な成長に導くか？～



フジクラの健康経営戦略と 肝炎対策の位置付け

2015年 8月7日@国際医療協力研修センター5階 大会議室



株式会社フジクラ

人事・総務部 健康経営推進室

浅野 健一郎

株式会社フジクラ

【社名】 株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

【本社所在地】 東京都江東区木場1-5-1

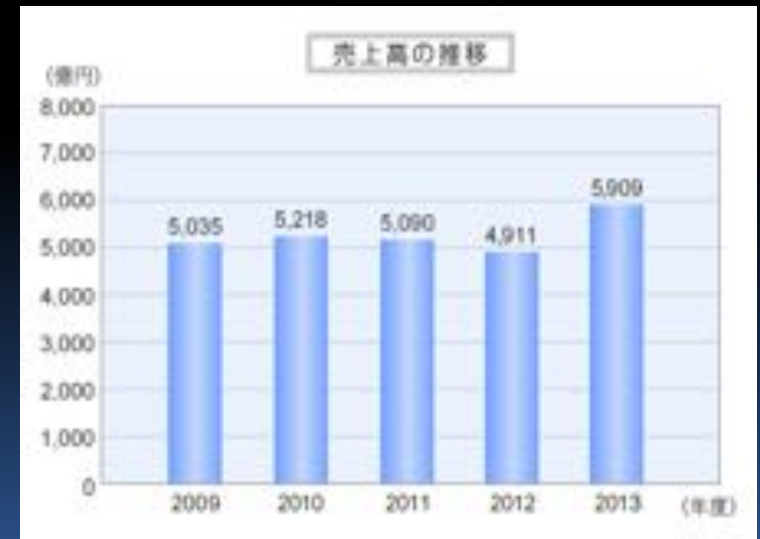
【代表者】 取締役社長 長浜洋一

【創業】 1885年（明治18年）2月

【設立】 1910年（明治43年）3月18日

【資本金】 530億円（2014年3月31日）

【従業員数】 53,409名（連結, 2014年3月31日）



健康経営

社員の方々の健康

個人の幸せ、個人と企業のリスクマネジメント、企業の収益

- 個人と家族のQOL (Quality of Life) の視点
- 労働安全衛生法における職域での安全衛生の視点
- 労働契約法における職域での安全・健康配慮の視点
- 企業の生産活動における労働生産性の視点
- 企業の新陳代謝におけるイノベーション創出の視点
- 企業・個人の保険料（医療費）負担の視点
- 課題先進国日本の社会保障課題の視点（年金・医療費）

私が目指す経営（現社長）

[基本]

- “第三の創業”の企業風土を受け継ぎ協力に推進する。
- “収益性を重視”し、健全な成長を図る。
- 目標を共有し、“チームアプローチ”でゴールを目指す。

[ゴール イメージ]

お客様からは感謝され、
社会からは高く評価され、

社員は生き活きと仕事している

フジクラの健康経営

—健康は経営課題—

フジクラグループでは、従業員の健康を重要な経営課題と捉え、経営として取組むことを明言して、会社・社員・健保組合一丸となって、健康増進・疾病予防に取り組んでいます。

【フジクラグループ健康経営宣言】

2014年1月1日

フジクラグループは、社員の健康を重要な経営資源の一つであると捉え、個人の自発的な健康活動に対する積極的な支援と、組織的な健康活動の推進で、「お客様からは感謝され、社会から高く評価され、社員は生き生きと仕事をしている」企業グループを目指します。

課題認識の特徴（経営視点）

- 事業活動の活性化への投資
 - 事業計画の達成に向けての人財観点の施策
- 企業存続への投資
 - 新規事業創出・新陳代謝促進に向けた人財開発

経営の中長期課題の実現に向けたアプローチ

取り組みの経過

実施年	主な実施内容
2010年度	健康増進・疾病予防を重点テーマに社内決定
2011年度	コーポレート企画室内にヘルスケア・ソリューショングループを設置。予防プログラムの自社開発開始
2012年度	新たな全社健康推進体制を整備開始 一部地区を対象に予防プログラムの試運用開始
2013年度	全社健康推進体制の確立 1次予防から3次予防までを展開

継続的な活動の仕組み —投資効果の指標化—

多様な側面から健康推進活動の投資効果を指標化し、経営層と共有化してPDCAサイクルを回して 一過性のイベントにとどまらず、活動を効果的且つ効率的、継続的に運用してくシステムを構築しています。

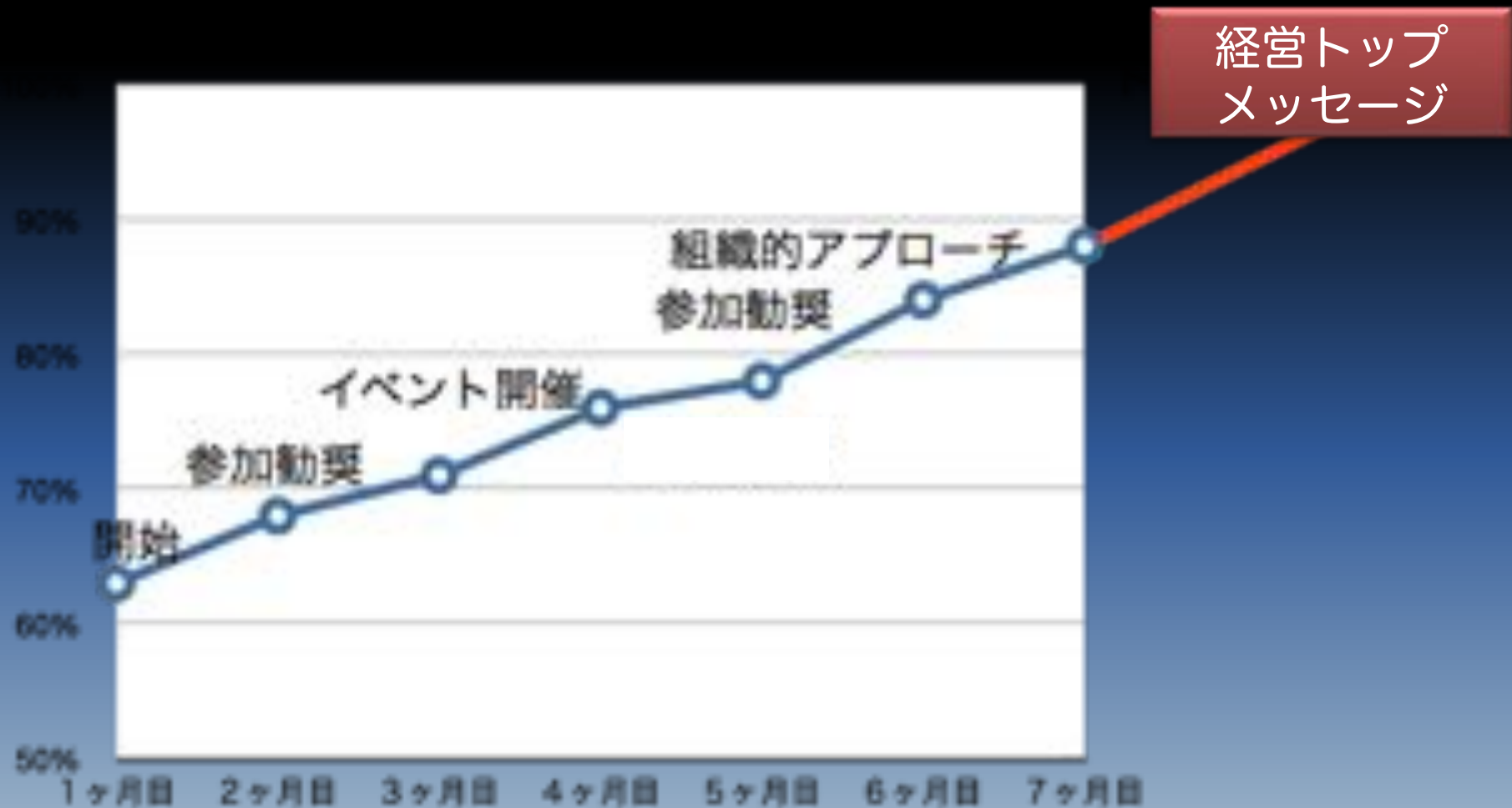
【方針】

- 個人が「生き生きと仕事や生活ができる」ことを目指す
 - 心身の健康
 - 環境整備
- 会社が中長期の視点で「投資回収」できることを目指す
 - 費用対効果
 - 対処より予防

【主な指標項目】

- 経営コストの視点：医療費、労働生産性等
- 社員の健康状態の視点：
健康マップ（リスクマップ）、有所見率、メタボ対象者数、喫煙者率
- 健康増進プログラムの運用の視点：
プログラム登録者率、サイト利用率、イベント参加率等
- 外部の視点：健康寿命を伸ばそうアワード、健康経営評価

参加人数向上の推移



「生き生き」を目指して

- 生き生きした状態とは？

【職場でのポジティブ心理学】

ワークエンゲージメント

1. 仕事に誇り（やりがい）を感じ
2. 熱心に取り組み
3. 仕事から活力を得て生き生きしている状態

「日本生産性本部：健康いきいき職場づくりフォーラム」資料より転用

「職場の生き生き」 ワークエンゲージメントの実現には？

職場（家庭）の環境

【働きやすい就労環境】【チームアプローチ】【情報共有】

相互依存

個人の意識と知識

【セルフケア】 【啓発活動】 【正しい情報提供】

相互依存

体（フィジカル）
の健康

相互依存

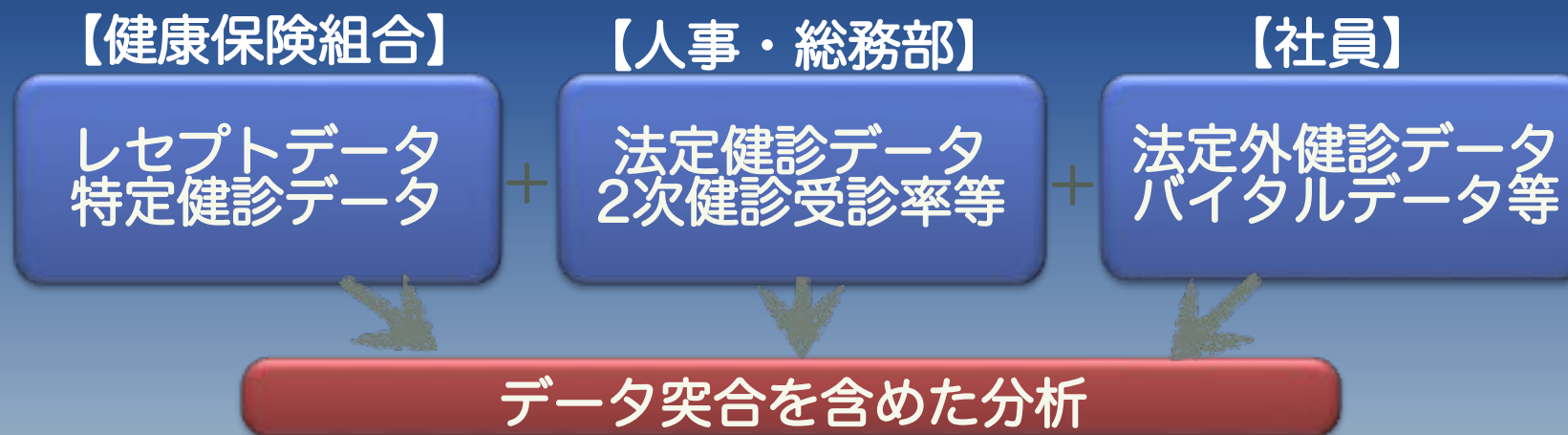
心（メンタル）
の健康

データヘルス データ分析

目標の共有化

ーデータ分析と目標設定ー

フジクラでは、健康保険組合にあるレセプトと個人の健康診断結果を分析し、状況の把握と目標設定、効果検証を行っております。将来的には、これらの突合分析を始め、健康活動、日々のバイタルデータを含めた総合的な分析の技術開発を行っています。



予防活動のスキーム

個人へのアプローチ

個別化プログラム
啓発プログラム
セルフケア



職場へのアプローチ

ラインケア
職場対抗イベント
いきいき職場づくりワークショップ



体（フィジカル）の
予防活動



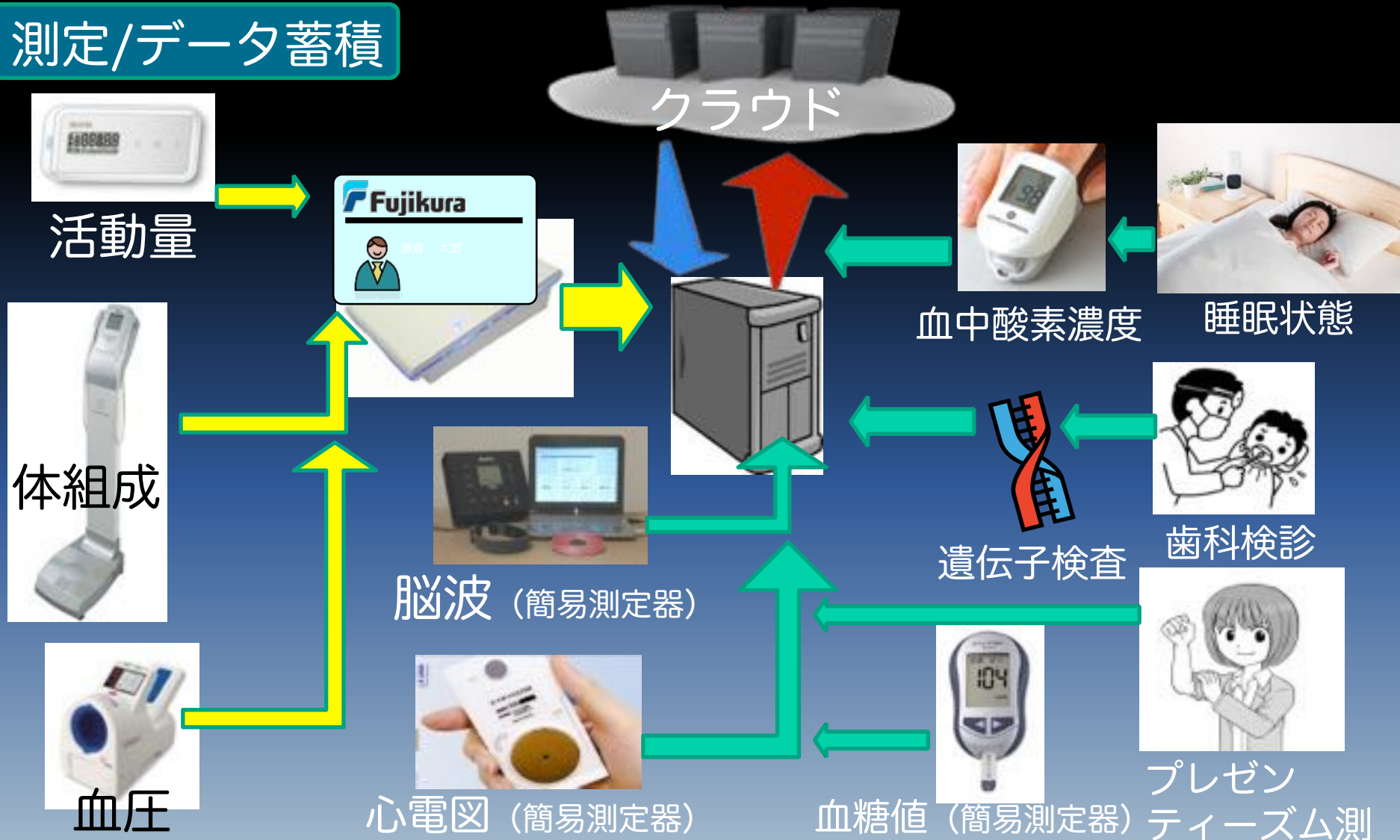
心（メンタル）の
予防活動

データの突合分析（健康状態・疲労・睡眠・活動・・・）

測定/データ蓄積

体組成、血圧、活動量は自動でデータを蓄積するシステムを導入し、遺伝検査、プレゼンティーズム測定等、独自性のある項目も実施して、効果検証を実施していきます。

測定/データ蓄積

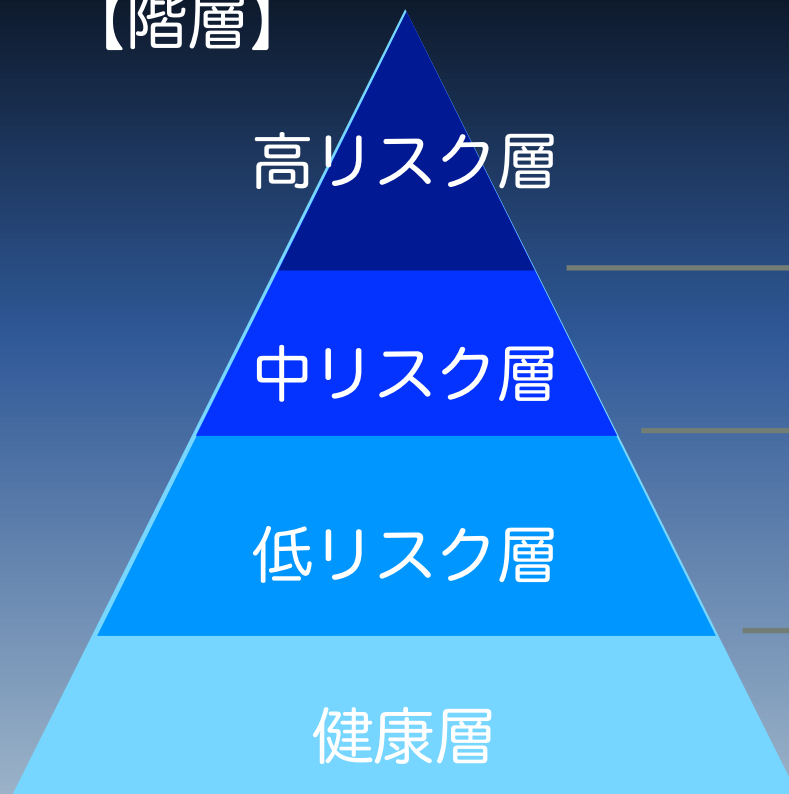


予防への取り組み

一階層別各種施策

フジクラでは、健康増進・疾病予防活動において1次予防の領域から重症化予防の3次予防まで全てのステージの予防活動に取り組んでいます。リスク階層やリスク内容・治療状況に応じて、具体的施策を実行しています。

【階層】



【健康支援策】

リスク疾病に応じた
重症化予防プログラムの提供

キャンペーンコール・情報提供
保健指導

受診勧奨・精密検査
キャンペーンプログラム（節酒、禁煙等）

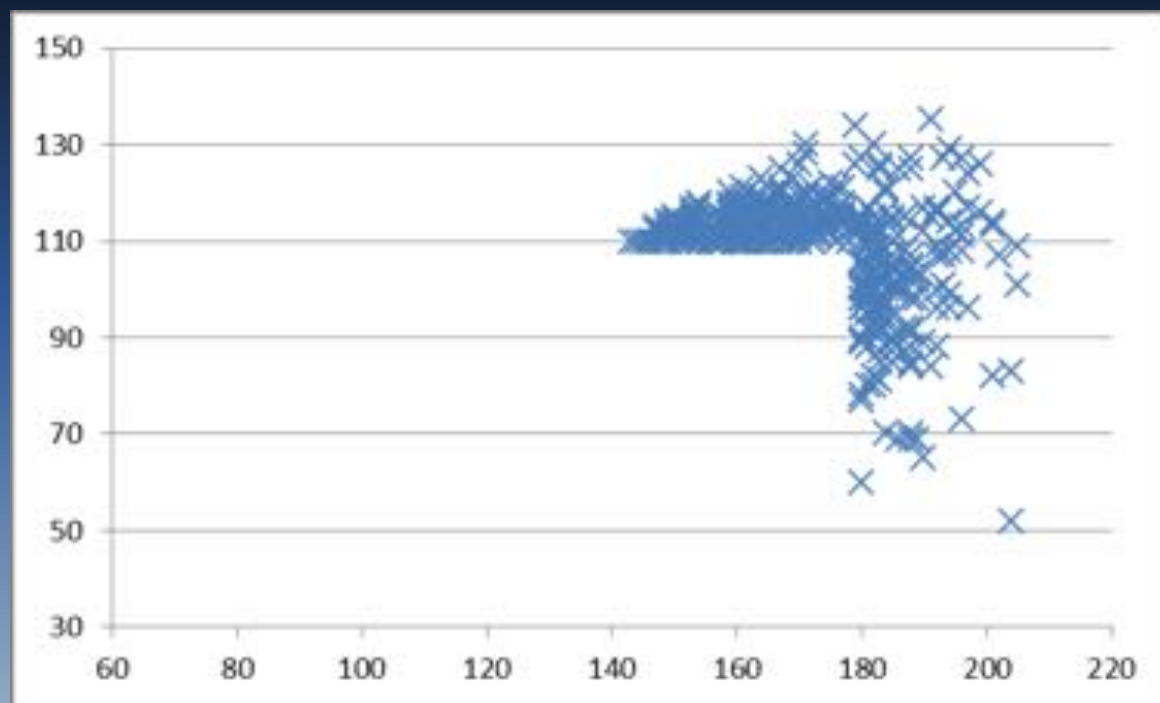
健康増進プログラムの提供
イベントの開催（歩行ラリー等）

日常のデータからの分析例

分析例

一日々のバイタルデータから 血圧編一

日々のバイタルデータから隠れたリスク者のあぶり出しを行い、他のデータとの突合分析を行い、具体的施策の立案に反映させています。



【パニック値】

データ数 435

対象者数 133名

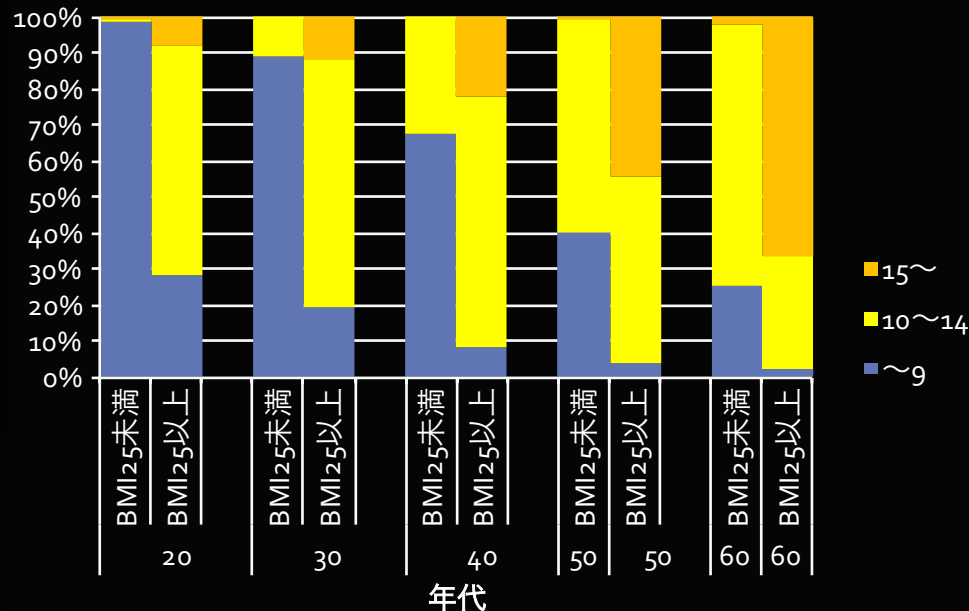
測定実施者数
2,600名

分析例 4

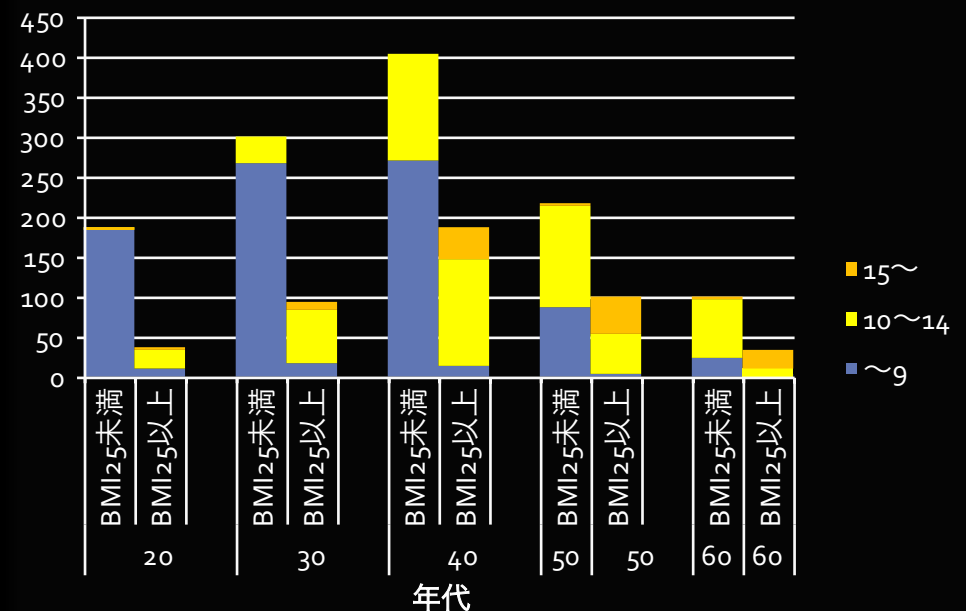
一日々のバイタルデータから 体組成編一

日々のバイタルデータから隠れたリスク者のあぶり出しを行い、他のデータとの突合分析を行い、具体的施策の立案に反映させています。

かくれ肥満がどのくらいいるか？



かくれ肥満がどのくらいいるか？



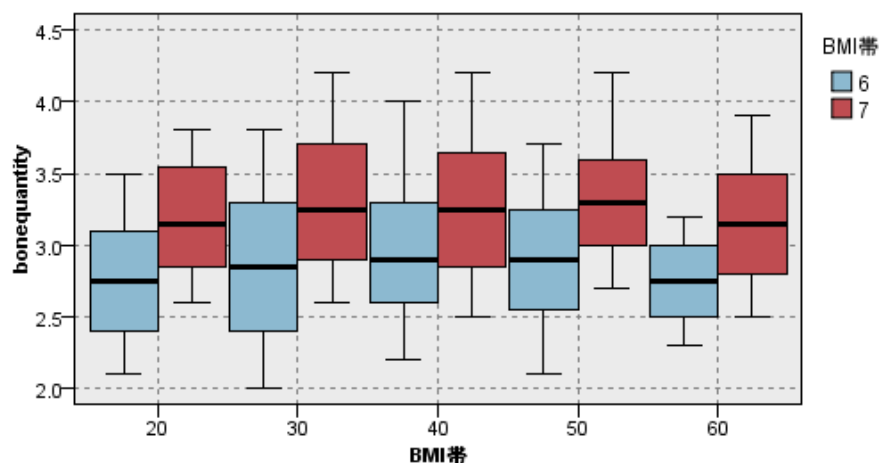
分析例 4

一日々のバイタルデータから 骨量編一

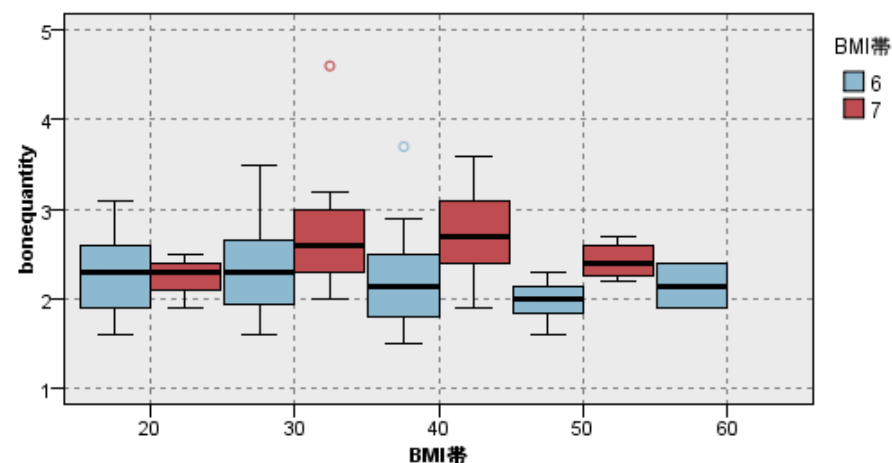
日々のバイタルデータから隠れたリスク者のあぶり出しを行い、他のデータとの突合分析を行い、具体的施策の立案に反映させています。

・ BMI帯： 6=25以下
7=25以上

【男性】

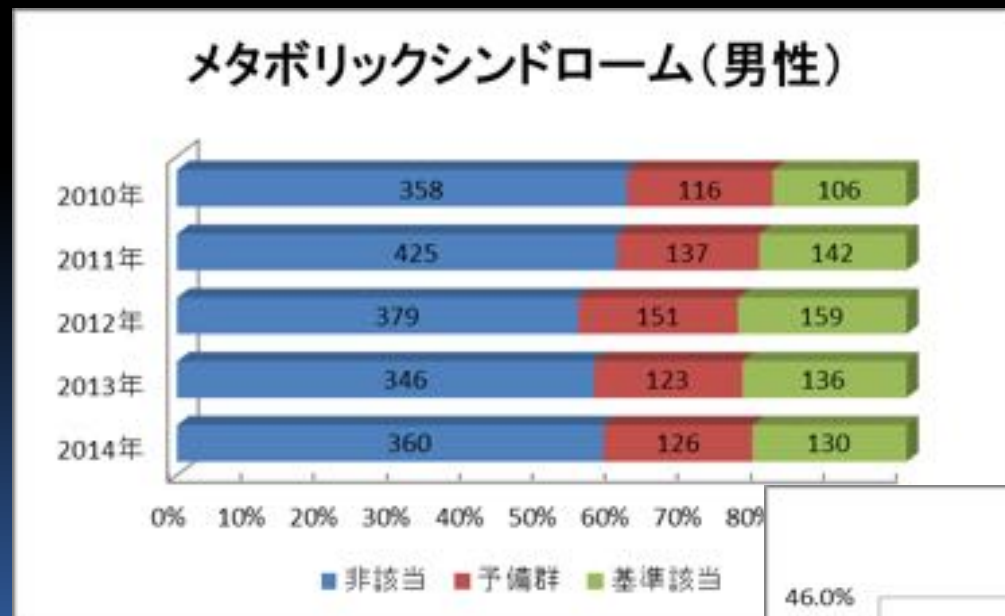


【女性】



健康経営活動開始後の効果

効果例（ポピュレーション）



【 γ -GTP】

γ -GTP判定(本社:男性)

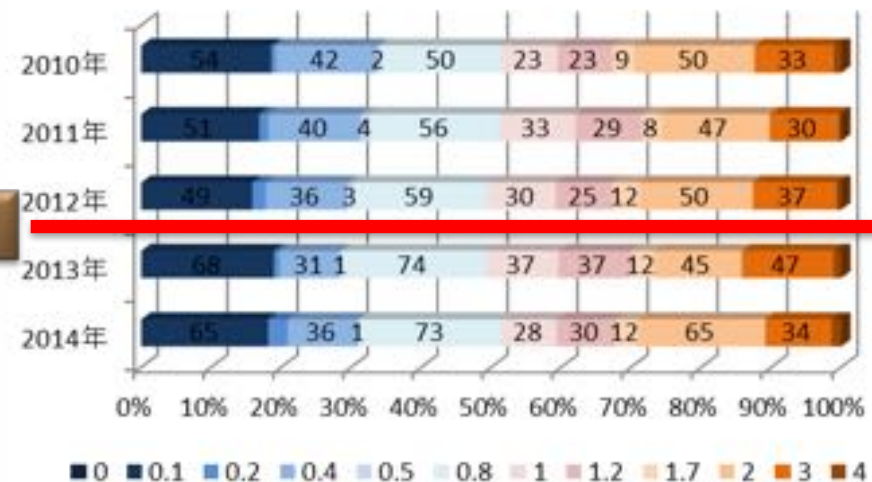


介入開始

介入開始

1合／日の飲酒量と
連動している？

一日飲酒量(本社:男性)



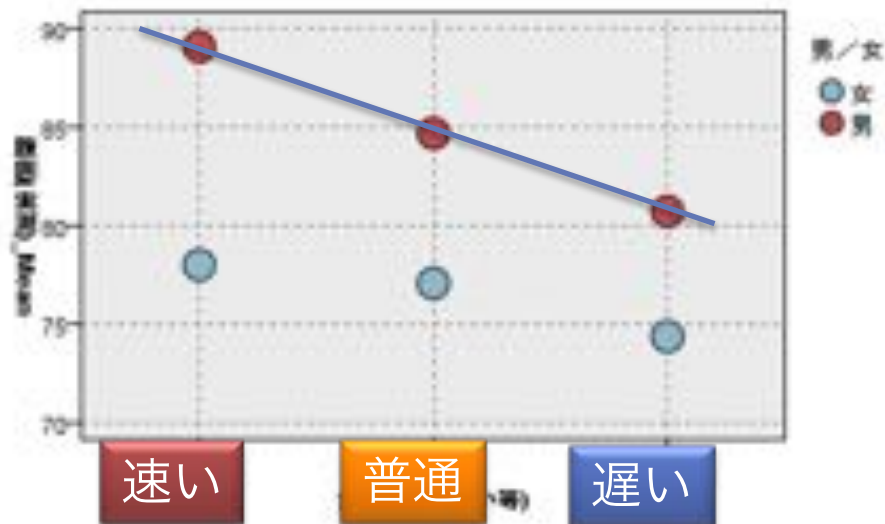
※) 異常なし (三友会) : A判定(0~79)のうち、JSCC勧告法基準50以上の対象

※) 一日飲酒量 : 毎日飲む(7)orときどき(3)orたまに(1)×飲酒量/7日

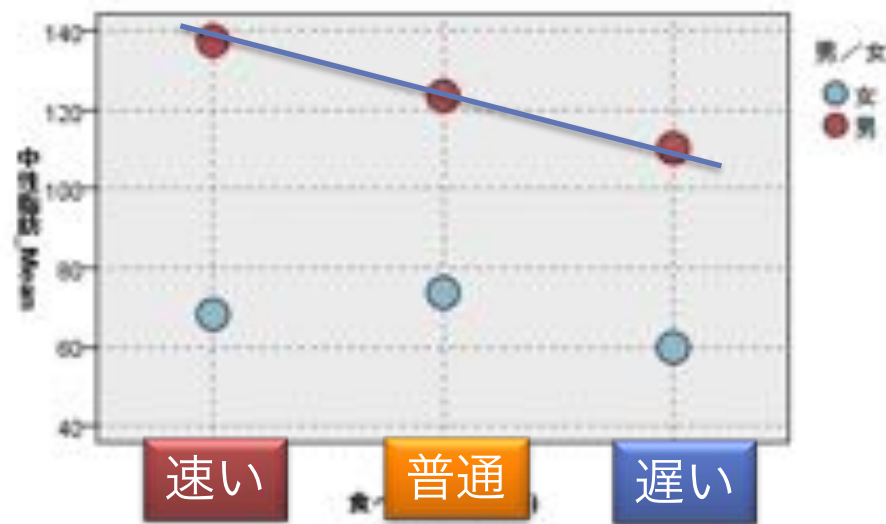
食べる速度と各種血液データとの相関

2014年：対象1019人(男792/女227)

腹囲



中性脂肪

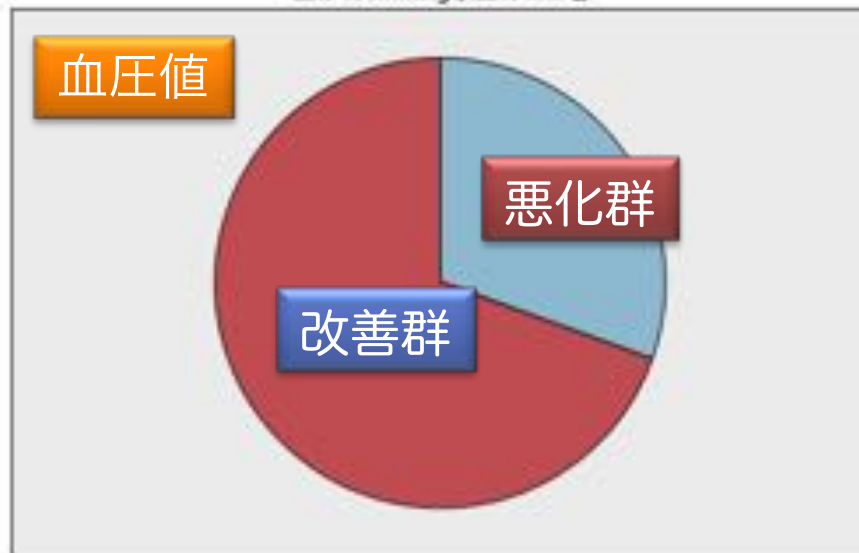


効果例（リスク者）

生活習慣病の多様なリスク者が1年の活動で
有意に健診時検査値の改善が見られる

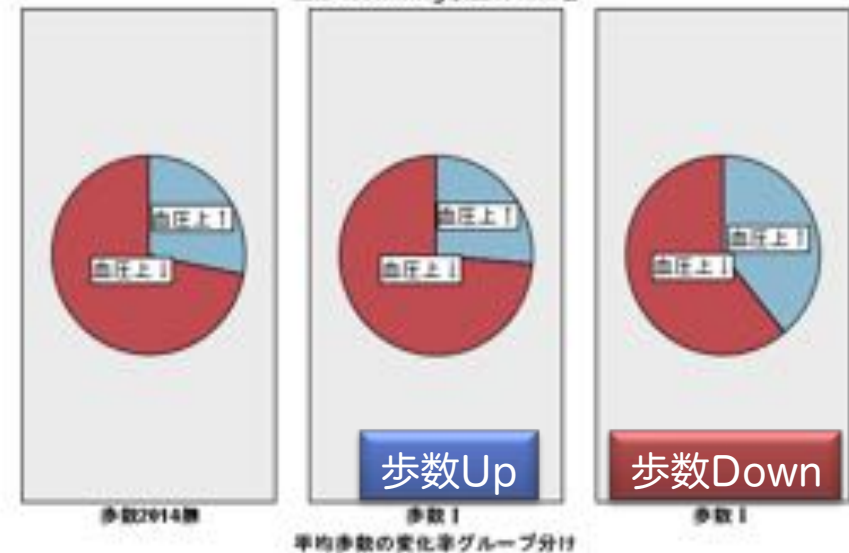
血圧上昇者(2013→2014)

母集団：深川地区実施の健診結果が2013年と2014年とも有りかつ2013年血圧
上が130mmHg以上のxxx名



歩数増減(2013→2014)と血圧上昇者(2013→2014)

母集団：深川地区実施の健診結果が2013年と2014年とも有りかつ2013年血圧
上が130mmHg以上のxxx名

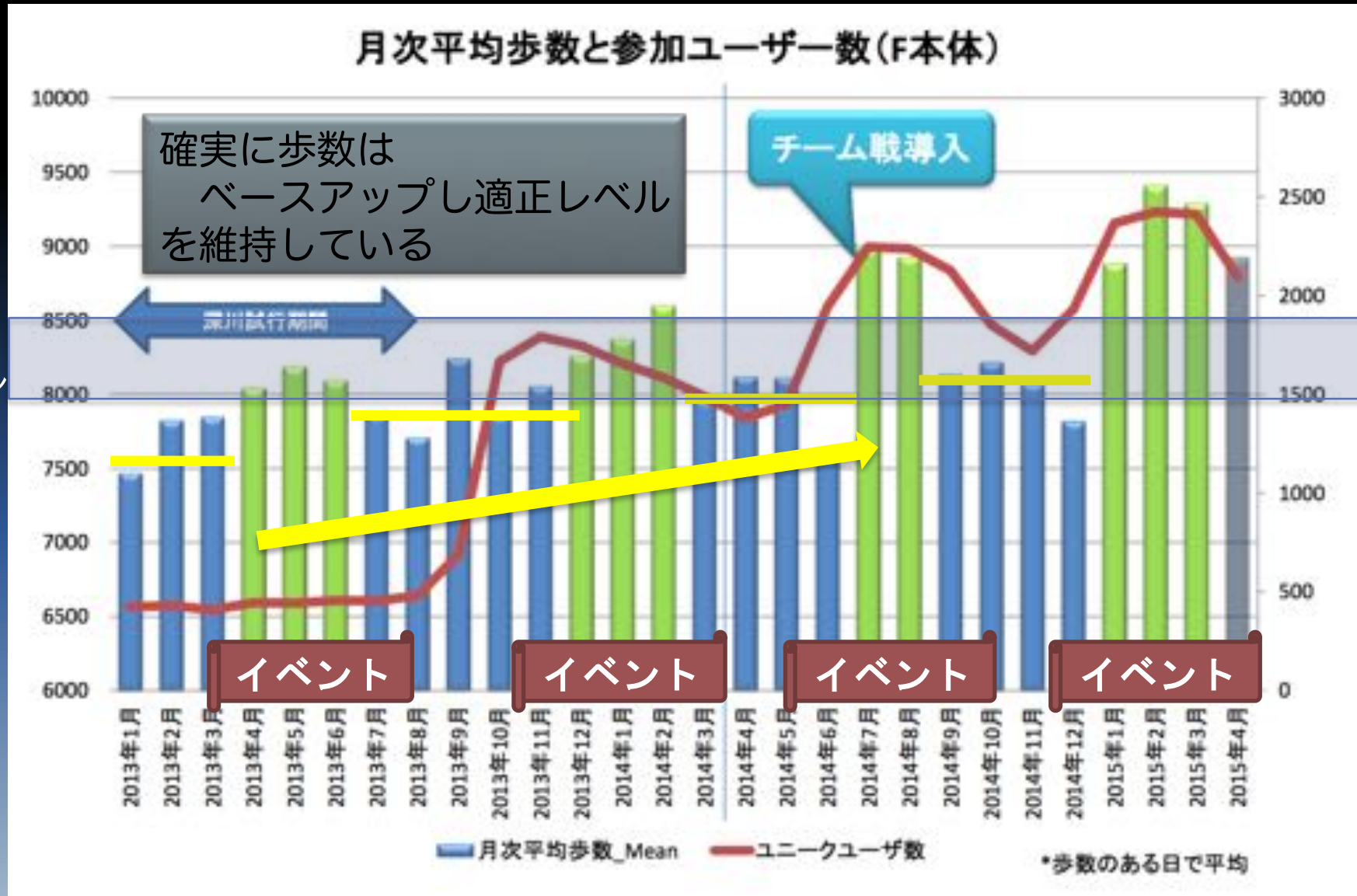


歩数計効果

適正な日常活動量維持（全社平均歩数）

歩/日

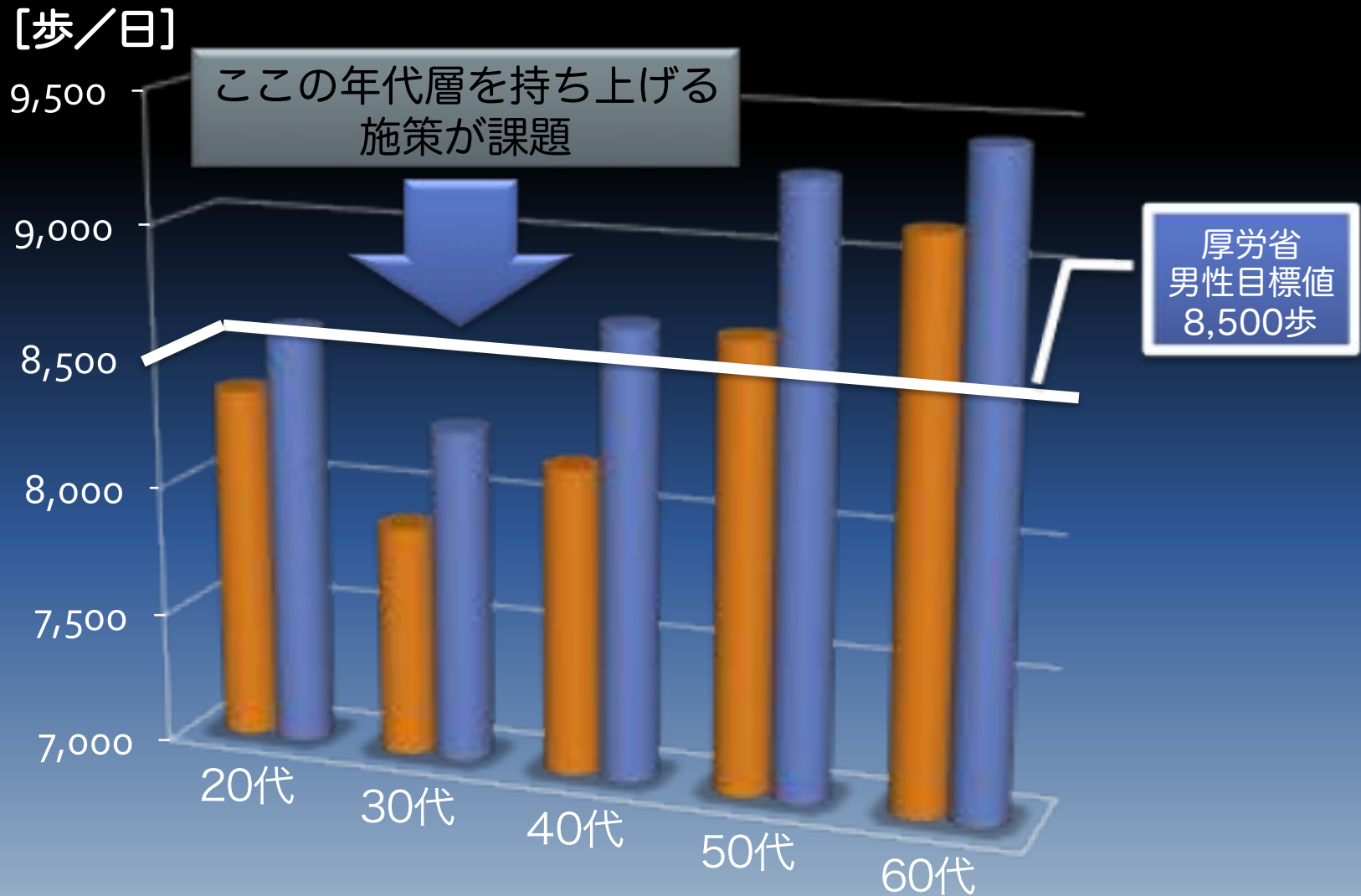
適正
レベル



歩数イベント期間中

年代別平均歩数

歩数データがある日で集計



肝疾患関係への取り組み

肝疾患全般における取組み概要

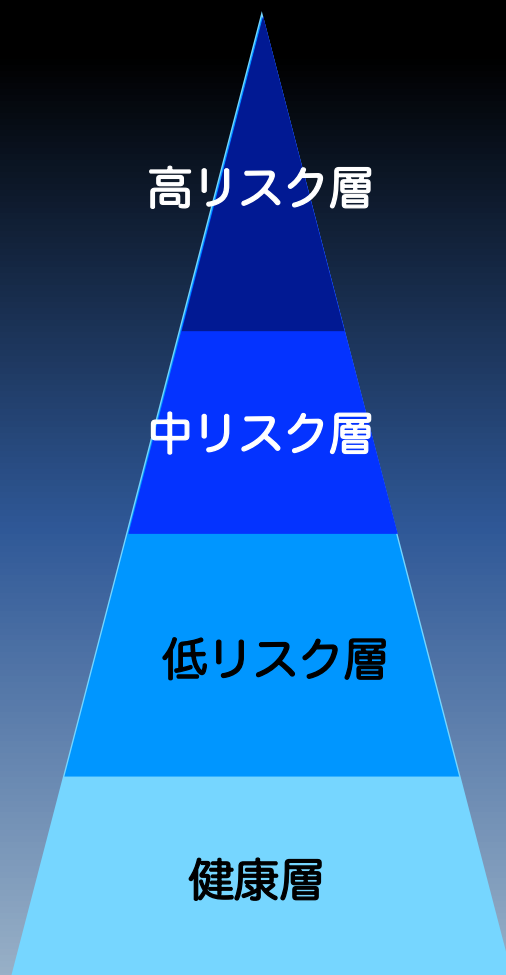
～予防種別で分類～

0次予防 【健康増進・環境整備】	1次予防 【発症予防】	2次予防 【早期発見】	3次予防 【重症化予防】
正しい知識の普及 & 【就労環境整備】	節酒プログラム	スクリーニング 検査	重症化防止 プログラム
対象：全社員	対象：飲酒量が 多く肝機能 が低下 傾向の方	対象：全社員 【初期】全社員 【都度】海外赴任者	対象：NASH／ 肝機能障害 の方
■勉強会 ■健康相談室 ■フレックスタイム ■短時間勤務 ■休暇制度 ■半休制度 ■就労状況の適正化	■グループワーク ・正しい知識の提供 ・摂取の見える化 (飲酒日記) ・気づきのディスカッション ・各種測定（血圧、体組成、γ-GTP等）	【初期検査】 ■一斉検査（済） ■入社時検査 【都度検査】 ■海外赴任前後検査	■肝臓を護る生活 ・アルコール ・疲労 ・食事 (良質蛋白摂取、減塩等) ・肥満解消 ■セルフモニタリング (自己血採血)

データヘルス計画書からの抜粋 1

◆目的と目標

生活習慣の改善により予防が可能であり、医療費、組合員のQOLへ与えるインパクトの度合いから疾病を特定し、健診データを分析、必要に応じてその他データを突合し、リスク別に階層化を行う



対象の明確化	分析対象データ	事業目的
予防可能で、発症すると、高額医療費がかかる疾患：透析と緊急入院 →腎機能障害、脳卒中・ACS、心不全、糖尿病（合併症有り）、COPD	健康診断結果 レセプト	・透析移行者、緊急入院者を出さない ・現役死亡ゼロ ・リスク層からの脱却
発症した際、QOLが低下する疾病 →不整脈・心雑音所見、糖尿病（合併症無し）、高血圧症、脂質異常症、 NASH/肝機能障害 + メタボリックシンドローム（特定保健指導対象者）	健康診断結果 日々のバイタル測定結果 レセプト	高リスク層への移行防止と中リスク層からの脱却
プレゼンティーズム低下が大きい症状(疾病)、生活習慣 →喘息、アレルギー、骨量、 飲酒 、喫煙 肥満、かくれ肥満（内臓脂肪レベル）	レセプト 健康診断結果 生活習慣 日々のバイタル測定結果	健康層への移行
リスク層対象外	活動量（歩数） イベントへの参加率 等	・プレゼンティーズムの改善 ・職場活性度の向上 ・健康増進

予防ステージ別 肝炎対策

3次予防：非アルコール性肝炎→生活習慣改善

2次予防：ウィルス性肝炎→肝炎検査（入社時）

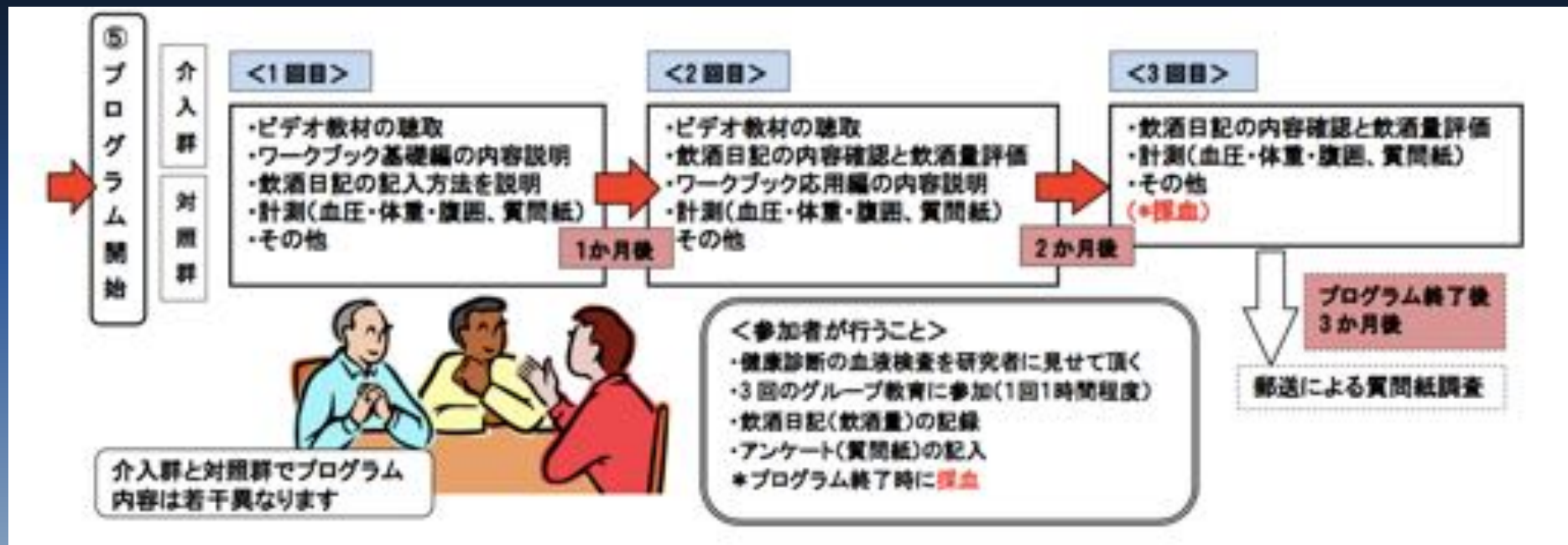
1次予防：アルコール性肝炎→節酒プログラム

0次予防：教育（新入社員研修）、身体活動量向上

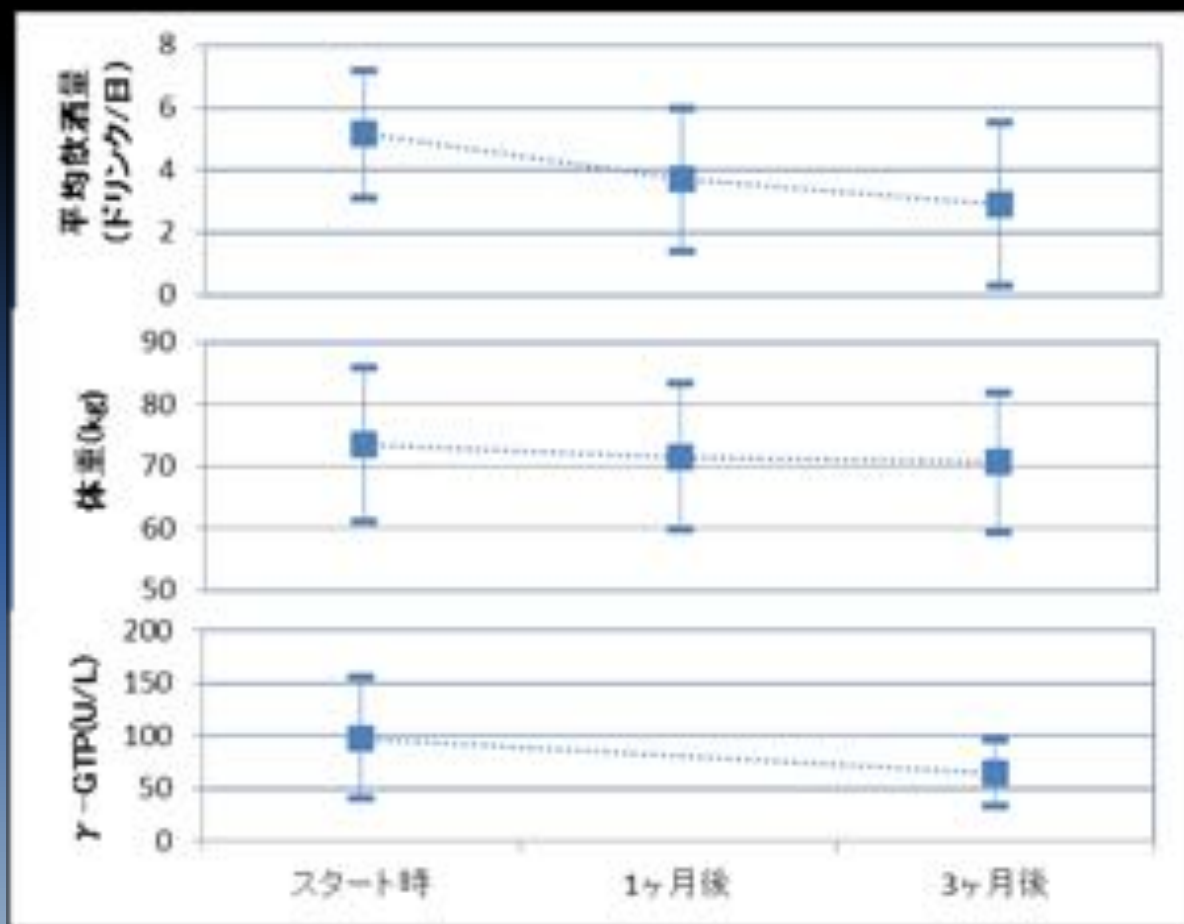
1 次予防 疾病予防プログラム

アルコール性肝炎対策 一節酒プログラム

飲酒量が多く肝臓機能が低下傾向にある人へ節酒プログラム



節酒プログラムの効果

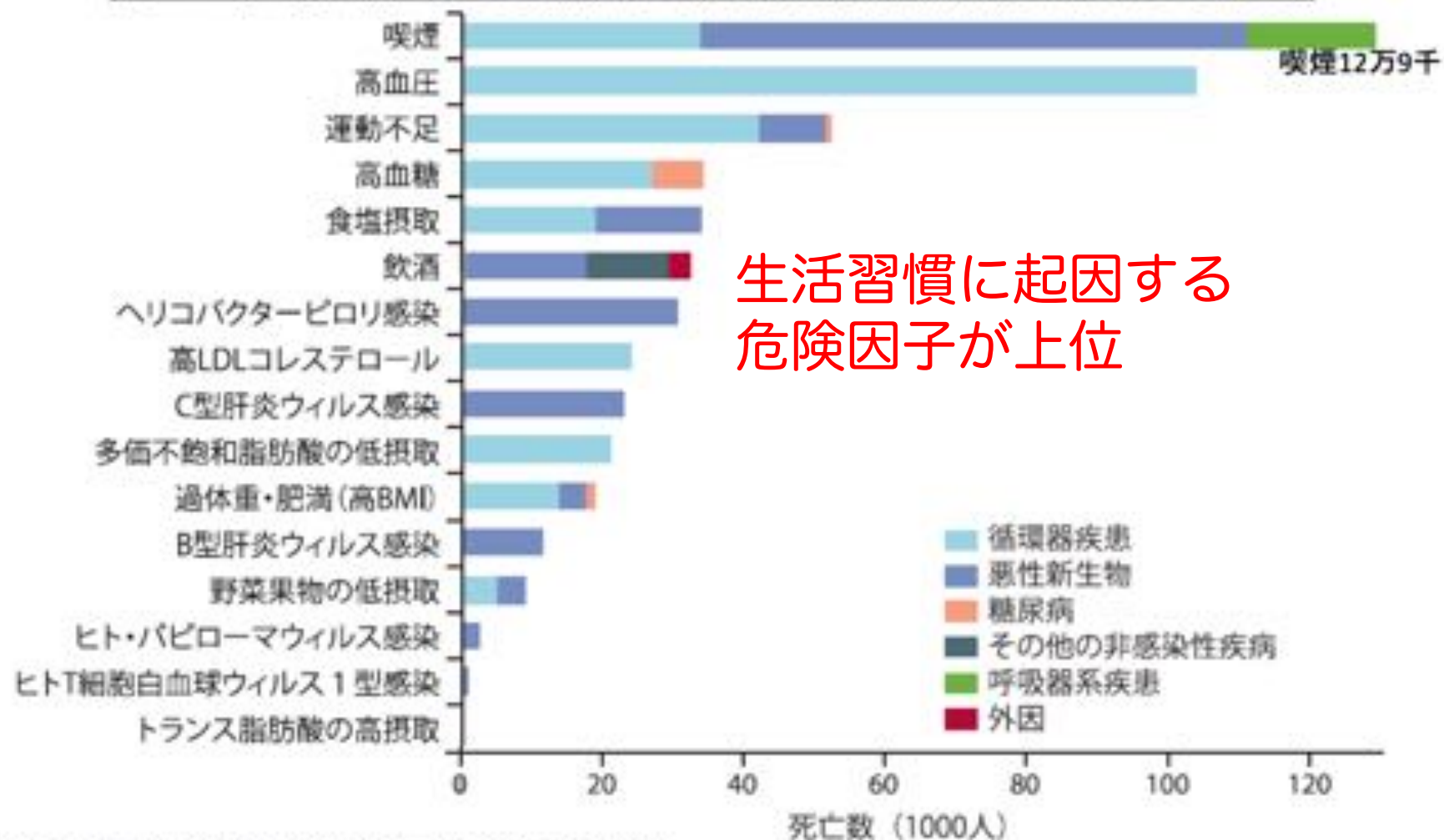


0 次予防

教育・研修

危険因子に関連する 非感染症疾病と外因による死亡数

図: 2007年の我が国における危険因子に関連する非感染症疾病と外因による死亡数



出典) THE LANCET 日本特集号(2011年9月)日本: 国民皆保険達成から50年

なぜ日本国民は健康なのか(厚生科学研究: 我が国の保健医療制度に関する包括的実証研究、渋谷健司より作成)

1

肝炎を知っている？



質問をクリックすると回答ができるよ！

知って、肝炎
This is Hepatitis. Know It. Confront It.

必ず一度は
肝炎ウイルス検査を
受けてください。

普通に生活していたら
関係ないでしょ？

ピアスや入れ墨も
感染の原因になるの？

症状が出なければ
問題ないんでしょう？

肝炎って聞いたこと
あるけどどんな病気？

肝がんの原因の約80%が肝炎ウイルスといわれています。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、もしもウイルスに感染していても、**自覚症状**がないまま病気が進行する恐れがあります。感染しているかどうかは検査を受けないとわかりません。肝炎ウイルスに感染していても、**早期に適切な治療を行うこと**で、肝炎の**治療**あるいは肝硬変や肝がんへの**悪化を予防**することが可能です。**検査は採血のみ**です。あなたのためにも、周りの大切な方のためにも、必ず一度は肝炎ウイルス検査を受けてください。

職場などの健康診断で肝炎ウイルス検査を受ける機会のない方は、お住まいの市町村での地域健診や都道府県等の保健所で検査を受けることができます。具体的な実施日程や費用などは、それぞれの実施主体によって異なりますので、別途、お問い合わせください。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

フジクラが目指す健康経営

健康経営が目指すこと

疾病、障害、年齢にかかわらず
皆が誇りとやりがいを持って安心して、
「活き活き」と働ける職場の実現

- － ○☑会社・経営者と従業員、上司と部下の信頼関係
- － ○☑働きながら健康維持・増進できる就労環境
- － ✕医療費の削減、労働時間の短縮
- － ✕健康による評価、やらせる保健施策、

ご清聴ありがとうございました